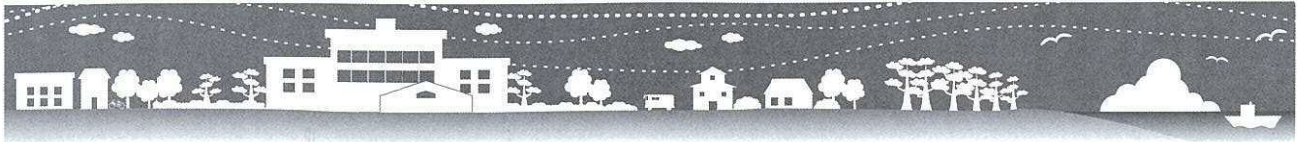


第11号

発行日 平成28年3月18日
 発行 関屋小学校地区コミュニティ協議会
 編集 同総務部会
 協力 新潟市立関屋中学校
 同校地域教育コーディネーター
 新潟市関屋地区公民館



平成28年2月 アンケート調査の結果

関屋小学校区コミュニティ協議会内の 集合住宅の現況について

会長 若槻 晃一

関屋小学校区コミュニティ協議会の20自治・町内会には現在、集合住宅の世帯は全世帯の約3割を占めており、各自治・町内会では多くの問題を抱えておりますが、今幾つかの問題についてアンケートをお願いしました。その回答の集計結果をご報告いたします。

(1) 世帯票などによる住民の状況把握

集合住宅には大きなマンションから小さなアパートまであり、そこに住んでいる住民の皆さまの状況把握には苦慮されていると思います。そこで個人情報保護の壁があるとはいえ、世帯票などの有無についてアンケートしてみました。それによると多くの自治・町内会で利用されておりません。これが一般住民との大きな壁となっているものと思われま

(2) 集合住宅に対する情報伝達の状況

アンケートの結果によると、閲覧板もほとんど閲覧されておらず、家庭ごみカレンダーなど市からの全戸配布だけが行われていました。

(3) 集合住宅に掲示板は？

掲示板についての設問は表記の仕方がまずく、回答に際しご迷惑をおかけしました。

(4) 会費徴収の際の問題は？

これについては大多数の自治・町内会が問題を抱えているようです。この件についてもなお詳細な検討が必要と思われま

最後に設問(5)、(6)について、質問の仕方に関する問題があり、回答に問題を残

自治会・町内会名	全世帯数	集合住宅世帯数
関屋新町2区町内会	94	6
同 町内会	115	15
関屋下川原1丁目町内会	68	25
同 2丁目自治会	98	0
関屋ハイツ自治会	102	0
関屋本村町自治会	302	50
関屋松波町1丁目自治会	118	46
同 2丁目自治会	115	20
関屋田町1丁目町内会	181	58
同 2丁目4区町内会	120	50
同 同 5区町内会	130	10
同 同 6区町内会	73	10
同 同 7区町内会	135	69
学校町通り3番町1区自治会	153	100
同 2区自治会	75	47
同 3区自治会	122	70
同 4区自治会	110	50
同 5区自治会	130	14
同 6区自治会	118	35
旭水町内自治会	86	21
合計	2445	696

全世帯数に対する集合住宅世帯数の割合28.5%
(平成27年5月現在)

〈質問〉	〈回答〉
1 世帯票などによる住民の状況把握は？	①している…5 ②していない…14
2 情報伝達の状況は？	閲覧板 ①している…4 ②していない…14 全戸配布物 ①している…16 ②していない…1
3 掲示板の有・無は？	①ある…8 ②ない…12
4 会費徴収の問題は？	①ある…3 ②ない…14
5 集合住宅は何棟・何室か？	
6 集合住宅との間で困っていることは？	5と6について/質問の仕方に問題があり、集計できませんでした。

新潟市地域活動補助金事業

2月27日(土)・28日(日)の2日間、関屋小学校区の児童、中学生と地域住民との「関屋スキー」は阿賀町の全面協力により、三川スキー場とホテルみかわで59人の参加者(児童・中学生42人、地域17人)がスキー講習会や地域交流会を行いました。

楽しかったよ
良かったね

「関屋スキー教室」

教育文化スポーツ部
平野 貢司さん

者や地域の皆さんにより、初心者・ボーゲン・中級の各コースに分かれて子どもたちの技量に合わせて講習をいたしました。初日の午後からは、初心者コースの子どもたちも全員リフトに乗り、補助によつて滑れるようになり、2日目、一人でリフトに乗り、補助なしで山頂から麓へボーゲンで滑っており、これらようになりました。

最後に、当事業のためにご協力くださった関屋小学校、地域の方々、スキー指導の先生および保護者の皆さま、ほんとうにお世話になりました、ありがとうございました。

マイクロバス3台に分乗 自己紹介なども…

27日午前7時20分、新潟市水道局に集合し、関小区コミ協・若槻会長の開会あいさつで始まり3台のマイクロバスに分乗し、現地到着までの間に自己紹介などをしてふれあい交流をしました。

講習はこどもの技量に合わせて

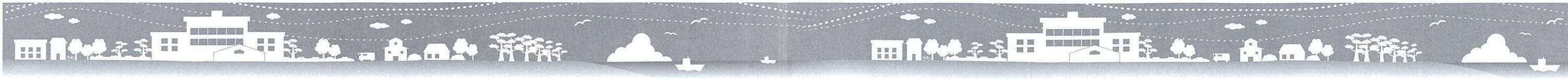
スキー運動ではこの事業に賛同してくださった新潟スキー協会の指導員さんと参加した保護

楽しい交流会 深まる地域のふれあい

夕食後の交流会では子どもたちと楽しいビンゴや地域のコミュニティ活動について質問コーナークイズを行い、この活動について理解を高めることができましたように思います。



2月28日(日曜)、阿賀町「ホテルみかわ」玄関前の総勢59人



関屋田町青年部の快挙…〈田町ふれあい寄席〉連続21回

新潟市地域活動補助金交付事業 扇辰落語独演会

関屋田町青年部
担当 鈴木 裕志さん
(扇辰師匠名) 関屋亭地口

昨年12月6日(日) 関屋コミュニティハウスで関屋小学校区コミュニティ協議会主催、関屋田町青年部共催で「入船亭扇辰落語独演会」が開催され、盛況裡に終了しました。

扇辰師匠を招いて開催してきた「田町ふれあい寄席」は今年で21回を数え、この間一度も休んだことの無い「快挙」です。

この素晴らしいイベントの中心として、スタートのときから担当して来られた鈴木裕志さん(関屋田町一丁目在住)に今までを省みて、ここにまとめていただいた次第です。

関屋田町青年部の皆さま、ますますのご発展、ご健勝をお祈り申し上げます。



開演前の会場・関屋コミュニティハウス。「満席になるかな…」

「子どもふれあい祭り」の行事だけでなく、高齢者にも参加できるものと考え、新潟で落語普及をしている知人を通して、長岡市出身の扇辰師匠を紹介していただいた。

古典落語の継承者

「扇辰に惚れ込んで」

当時、師匠も独身で九代目故入船亭扇橋の弟子で二ツ目に昇進の時期、古典落語を継承したその凛とした姿勢に惚れ込んだ。

20回を超えた

独演会の快挙

それから年一回の独演会も10回、20回と続き、一時は打ち切ることも考えたが師匠の計らいや楽しみにしている方々の期待に応え今に至っている。

「笑う門には福来たる」と言うように、明るくここにこして人には自然と幸福が訪れると聞く。人生の一番の幸福は健康であり、それが落語を聞くことで補えるならと思えた。

落語独演会

誕生のきっかけ

継続こそ力

今から22年前、町内の活性化、親睦を目的として活動してきた関屋田町青年部は「もち



老若男女で満席の中、一席目「田能久」、二席目「雪とん」を熟演する師匠。

入船亭 扇辰 プロフィール

本名 川越 辰朗 (かわごえ たつろう)
誕生日 1964年2月13日 (51歳)
師匠 入船亭 扇橋
出陣子 から翁子
家族 妻/覚 和歌子 作詞家、詩人
弟子 入船亭小辰 入船亭辰のこ

略歴

- 新潟県長岡市出身
- 長岡市立阪之上小学校、新潟県立長岡高等学校卒業、國學院大學文学部漢文学科中退。
- 1989年 九代目入船亭に入門、扇たつの名を。
- 1993年 ニツ目に昇進、扇辰と改名。
- 1998年 につかん飛切り落語会努力賞を受賞。
- 2001年 につかん飛切り落語奨励賞を受賞。
- 2002年 真打に昇進。
- 2007年 国立演芸場花形演芸大賞銀賞。
- 2008年 国立演芸場花形演芸大賞金賞を受賞。

300年余の歴史

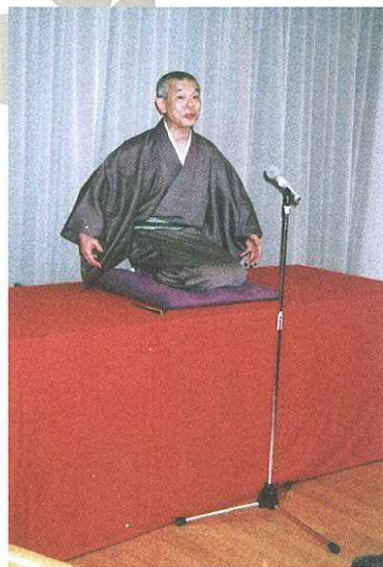
落語は300年以上の歴史の中、庶民に何世代にもわたって伝承され、一人芝居として洗練されてきた古典芸能とも言われている。

身振り、手振り… 伝統の一人芝居

喜怒哀楽、教訓や登場する知名人、名所旧跡、その背景の歴史観も知ることができる。

身振り、手振りのほかに扇子と手ぬぐいだけの演技、最後の「サゲ」(オチとも言う)にはことわざ、言葉づかい、揶揄なども含めて不思議なほどの醍醐味を感じる。

落語に接することにより今は廃れてしまった古き良き時代の日本を知ることができたり、過去の世界にタイムスリップしたかのような郷愁をかもしだす。ことしも春を迎えるが、年初め落語の初席と言えば「御慶」



軽妙洒落な「まくら」が終わる。着ていた羽織をさらりと脱いだ、その時の師匠。

「かつぎや」「初天神」なんて聞くけど、断のまくらにもよく初夢の一節がでて来る。

「富士」「二鷹」「三茄子」

昔は一月二日になると「お宝、お宝」と言つて、七福神が乗った宝船を刷った紙を枕の下に敷き「富士」「二鷹」「三茄子」と、富士は無事や末広がりが、鷹は上昇、茄子は成すとかケガが無い例えとして縁起を担いだそうだが、今は宝くじでも敷いて寝た方が…。

至福の落語

一時の至福

さて、夢は人の夢も気になるものだが、夢題材の落語では師匠の「夢の酒」「天狗裁き」は絶品である。

落語は娯楽と言うより一時の至福として、世知辛い世の中、たまには落語でも聞いて忘れていた夢や笑いを取り戻したいものである。

立春、豆撒きの翌日、関屋小学校区コミュニティ協議会の

代表・有志24人と新潟市中央区長ほかとの平成27年度の交流会が次のとおり開催された。

とき 平成28年2月5日(金) 午後6時～8時

ところ 関屋小学校集会室

定刻の午後6時、関小区コミ協の若槻会長のあいさつ、司会により開会。さびしい寒さの中、参加されたコミ協関係者の積極的、建設的な発言が続き、熱く、そして活発な交流会となった。

事前に提出された8項目について討議がなされたあと、参加者から二つの要望が出された。

その一つはコミ協側から提出した質問事項に対する回答・説明の要点について、ぜひ簡単な資料を作って配布してほしい。もう一つはこの交流会でコミ協側から出された市政に対する率直な意見、いろいろな提言などは市長にしっかり伝えて欲しいと。

平成27年度

関小区コミ協と中央区長ほかとの交流会

新潟市中央区の出席者(敬称略)

- 中央区長 石塚里栄子
- 同 地域課長 長濱 達也
- 同 総務課主幹 戸嶋 文明
- 同 健康福祉課主幹 宮川亜紀子
- 同 地域課主事 小出 亮介
- 同 総務課総務係 渡辺 文子
- 同 関屋地区公民館 長沼 剛

事前に提出した質問事項 (括弧内は回答者名)

1. 当市の津波対策はどのようにどこまで進んでいるのか? (戸嶋総務主幹ほか)
2. 空き家対策の進行状況は? (石塚区長ほか)
3. 災害時要支援リストは有効に町内会に活用されているか? (石塚区長、戸嶋主幹ほか)
4. 「地域包括ケア」の説明のあと、その後の進行状況は? (石塚区長、宮川主幹ほか)
5. 27年度に事業要望として提出した要望の進行状況は? (石塚区長、宮川主幹ほか)
6. 28年度の事業要望として提出した件の回答はいつごろか? (石塚区長、宮川主幹ほか)
7. 新潟市内各コミ協に張りついている職員の役割とは? (石塚区長、宮川主幹ほか)
8. 各自治(町内)会の役員候補が極めて不足し、運営に困難な事態が生じている現状について、市側の認識を知りたい。(石塚区長ほか)